



◆早崎百合子 議員

歯と口腔の健康づくりは

町長 周知・啓発に努める

政府から発表された「骨太の方針」の中で、歯科保健医療提供体制の構築の強化が盛り込まれ、国民皆歯科検診が検討されているが。

問 歯科疾病予防について、実施されている予防策は。

答 妊娠前から高齢者まで、それぞれの時期に歯と口腔対策を実施している。

問 健康維持・増進のためには、歯科・歯科かかりつけ医の存在は重要。かかりつけ医について、行政側として期待しているのは。

答 かかりつけ医での定期健診受診により、口腔機能の低下や歯周疾患の予防を期待しており、今後も広報等で周知していく。

問 町の基本指針や実行計画・実行状況は。

答 医師会・歯科医師会・町民の代表

者等による養老町健康なまちづくり推進会議を開催し、歯と口腔の健康を含めた「第3次健康ようろう21」の進捗状況を確認し、課題等について意見交換をしている。

問 現状における問題点・課題等は。

答 かかりつけ医を持つことで、歯の健康状態を確認することは大切であることから、広報等を活用し周知・啓発に努めていく。



80歳で20本以上歯を保とう



◆小寺 光信 議員

養老町の防災士の認識は

町長 地域防災力向上に役割を担う

防災士の団体設立は防災士の方々からの自発的な取組が最も効果的で、現時点では防災士の方々との議論不足を認識。

問 防災士の育成現況は。

答 令和2年度から2名の方が防災士養成補助金を活用し資格取得した。岐阜県が開催する「防災士養成研修講座」の開催要領を町ホームページに掲載し、積極的に防災士育成の啓発に努めている。

問 養老町と防災士との連携は。

答 令和4年5月に防災士の資格を認定する「日本防災士機構」の協力を得て、町内の防災士の資格を所持している方に対し、町からの要請があった場合、積極的に地域と連携して頂けるかどうかの確認をしている。

問 新型コロナウイルス感染症対策の避難所運営の周知は。

答 町のホームページに継続して掲載広報よろうろに令和2年度に1回、令和3年度に3回、ケーブルテレビに令和2年度に1回、令和3年度に2回周知して万全を図っている。更に令和2年9月に「防災リーフレット」を配布、又「避難者カード」の作成の案内をし災害への備えに万全を期している。



養老町地域防災計画

あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 103

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和3年6月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 「公共施設管理計画」への対応は「こうなりました」

平成29年5月に策定した「養老町公共施設等総合計画」をもとに、
・施設ごとの個別計画の策定
・施設類型別の優先度判定
などの項目をあらたに追加し、令和4年3月に、養老町公共施設等総合計画（改訂版）を策定しました。
今後、本計画をもとにして、維持管理コストなどの検証とともに、施設ごとの方針（集約化、複合化、廃止、民間施設の活用など）について検討してまいります。



養老町HPより閲覧できます

議会に対しての意見

シリーズ 41

住民の声

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

（町内在住 Y・M）
養老町HPの議会サイトにアクセスすれば、議会のインターネットライブ中継も見られるし、議員さんの質疑応答も臨場感ありでわかり易い。議会でのペーパーレス化はタブレット端末導入で進んでいるようですし、議会だよりもHPから瞬時に閲覧できて、情報公開の努力に感心しています。
それでも何か足りないと感じるのは、情報発信が一方通行気味だからかも知れません。議員さんや関係者がリモートでも参加できる議会であって欲しいです。オンラインで双方向につながれば、より迅速に住民の声も届くし、透明性が高いからです。
公共施設では未だに紙の申請書や報告書を求められ、うんざりする事もしばしば。紙に書けば次に誰かがデジタルデータ変換せねばならず遅いし無駄。議会でもこの問題解決に向けて是非活動して欲しいです。